

別紙

2016年7月13日
国際図書館協力委員会

ラトビア国立図書館への図書資料寄贈の依頼について（ご案内）

ラトビア国立図書館は、国家的な21世紀文化事業のひとつとして、ラトビア出身のアメリカの建築家による斬新なデザインの建造物を2014年に建設しました。その名も“Castle of Light”と呼ばれています。

2015年9月には、東アジア地域文化に関心のある市民、またその分野を専門とする研究者に向けて、図書館内に東アジア研究センター(Baltic Eastern Asia Research Center)専用のスペースを作りました。ラトビアにおける東アジア地域に対する知識、理解の促進を図るべく、図書資料（冊子及び電子）の整備やセミナー、展覧会の開催をおこなっています。

しかしながら、東アジア研究センターに充てられる予算は限られており、図書資料を購入できないという厳しい状況にあることから、2015年11月に私立大学図書館協会に「寄贈資料搬送事業」による資料寄贈について、下記のとおり問い合わせがありました。

つきましては、寄贈を検討していただける図書館がございましたら、経緯についての詳細（ラトビア国立図書館担当者と当委員会間のメール）を転送させていただきますので、国際図書館協力委員会事務局までご一報いただければ幸いです。

なお、寄贈に際し、今後の手続き等については、各館から直接ラトビア国立図書館に連絡をとっていただき、両者間で調整をおこなっていただきますようお願いいたします。

記

寄贈先：Baltic Eastern Asia Research Center Department

National library of Latvia

<https://www.lnb.lv/en>

*上記ウェブサイト About Library>Floor map の Floor M に位置します。

寄贈図書の内容：

特に日本の文化（伝統的なものから現代文化まで幅広く）、民俗、歴史に関する資料

以上